

令和4年度 指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市社会体育施設		
施設所管課	教育委員会文化・スポーツ振興課		
指定管理者名	公益財団法人 四国中央市スポーツ協会		
指定期間	R4年 4月 1日 ~	R9年 3月 31日	
	1年目		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		B	B	
《①の総括》		B	B	
指定管理者の 自己評価	臨時職員、シルバー人材を活用し、管理運営施設全体において支障なく業務を行った。 月1回以上、職員ミーティング等により情報の共有を行い、緊急時等、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応することができた。			
施設所管課の 評価	コロナ対策や緊急対応等について市に対して適切な報告や相談がなされ、市と随時連携を図りながら利用者対応が行われていた。特に川の江体育館改修工事に伴う利用者への周知や調整等について適切に対応され、工事が計画通りに進捗している。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	B	B
		設定目標に対する取組は適切である。	B	B
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	利用者アンケートの結果を職員間で共有、相談し、迅速かつ適切な対応を行うことができた。自主事業のスポーツ教室についても、市民の方々の意見を取り入れ種目を増やし、市民のニーズに対応した。			
施設所管課の評価	コロナ禍において、計画日数を開館できたことから、施設利用者数、事業開催数ともに昨年度実績から大きく増加した。しかし、施設利用者数はコロナ禍前までは回復していない状況にあるため、利用者アンケートの結果も踏まえて、利用者満足度の更なる向上に務めていただきたい。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	新型コロナ感染が落ち着いたため、利用状況も回復傾向になり、安定した利用料収入が見込めるようになった。		
	施設所管課の評価	電気料金の高騰が収支を圧迫したが、使用量の節減や修繕箇所を選択などに努めた結果、妥当な収支状況となっている。		
総合評価	①②③を合わせた総合評価	B	B	
所見（成果・課題等）	<p>新型コロナ感染が落ち着いたため、利用状況も回復傾向になり、利用料収入が安定してきたが、電気代、燃料費等の高騰より修繕費等の予算減額となったが、修繕等内容を精査し、利用者の安全性を確保する施設管理を行った。職員ミーティングでも情報を共有、協議し、節電対応に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行により、令和5年度からはようやく通常運営に戻ることが期待される。スポーツを通じた市民の健康増進地域活性化の拠点施設として、施設の安全を保持し、各種スポーツ団体と連携を図りながら、サービスの向上と施設管理に努めていただきたい。</p>			

各項目の評価基準

区分	項目評価	基準
評価基準	A（優良）	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上
	B（良好）	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満
	C（一部良好でない）	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満
	D（良好でない）	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満
総括	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている
総合評価	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている